



「素直さ、謙虚さ、感謝の心」

3年学年主任 山本隆祥

今年度が始まって、はや3か月が過ぎ、1学期が終了しようとしています。本当に月日の経つのは早いと感じます。

さて、君たちは次の言葉を聞いたことがありますか？

「人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知る。」

これは2020年に亡くなった映画監督大林宣彦(おおばやし のぶひこ)さんの言葉です。とても考えさせられる言葉だと思いませんか？

大林さんはこう言います。

出会い、別れていった者たちこそが、僕の人生のすべてであるといってもいい。僕の映画の中でいつも使われる別れの言葉は、「ありがとう。ごめんなさい。さようなら。」である。「ありがとう」とは、二人を出会わせてくれた運命と、僕に出会ってくれたあなたへの感謝。「ごめんなさい」はそのあなたにもらったものの大きさに対して、僕があげることのできなかった多くの事についての申し訳なさ。そして最後には、礼儀正しく「さようなら」。人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知る。

人生で必ず訪れる、出会いと別れ。皆さんはこの今治北高校で先生方や先輩・後輩そして同級生と出会い、3年間の学校生活を過ごして、卒業(別れ)を迎えます。今治北高校で過ごした時間は、人生においてかけがえのない時間になるはずです。楽しかったこと、うれしかったこと、腹が立ったこと、悲しかったこと、悔しかったこと、不安になったこと、そして悩んだこと。そのすべてが生活(人生)そのものです。皆さんは、北高を卒業するとき、どんな言葉を思うのでしょうか。

私自身、決して良い人間でも慕われる人間でもなく、人間として足りないものがいくつもあって、いつも成長し続けたいと思っています。そして、皆さんに次の三つの言葉を送りたいと思います。「素直さ、謙虚さ、感謝の心」。この三つの言葉を念頭に置いて生活(人生)を送れば、必ず人が寄ってくるうえに、自分の成長にもつながると思っています。

私は、今治北高生の頑張りを信じています。 「頑張っていこう、今治北！」

スクールライフアドバイザー 武内 靖先生

7月・8月の来校予定日

7月2日(火)・9日(火)・16日(火)・23日(火)・30(火)

8月20日(火)・27日(火)



※どのような場合でも、話の内容の秘密は厳守されますので、安心して相談してください。